



## 自分を好きになる

オリンピックでの選手の活躍と、そのひたむきな姿に何度も涙を流しています。限界に挑み、自分を信じて進むアスリートたちの姿に心を打たれる感動の連続の中で、この一年間を振り返りながら書いています。

振り返れば4月、「心（気づき）・頭（考え）・姿（行動）」の3つで答えてほしいという願いから、私たちの1年は始まりました。皆さんはこの一年、安心できる「コンフォートゾーン」に留まるのではなく、失敗を恐れず、勇気が必要な「ラーニングゾーン」へと何度も挑戦し、自分を磨いてきました。

9月にお話した「点と点がつながる」という言葉を覚えているでしょうか。皆さんが取り組んできた日々の小さな努力は、その瞬間はただの「点」に見えたかもしれませんが、1月の「1.01の法則」のように毎日「+0.01」の成長を積み重ね、それらの点は今、確かな「線」となり、皆さん自身の「自信」という大きな面を作り上げようとしています。そして、AIには決してできない「自問清掃」のように、相手を思いやり、自ら考えて動くという「人間ならではの」尊い歩みの結晶でもあります。

そして、今改めて伝えたいのは、「自分を好きになる」ということです。『SLAM DUNK』の登場人物たちが、欠点（短所）があるからこそ愛されるように、世の中に完璧な人間などいません。人は長所で尊敬されますが、実は「短所で愛される」ものなのです。私自身、『チーズは大嫌いなのにピザなら食べられる』という自分勝手な弱みがありますが、それが会話のネタになり、誰かを笑顔にすることもあります。パズルのピースが「凸凹（デコボコ）」しているからこそ互いに支え合えるように、皆さんの短所や弱さは、誰かがあなたを助け、愛するための大切な「余白」です。自分の「デコボコ」を隠すのではなく、あなたにしかない「あなたらしさ」として面白がり、慈しんであげてください。

卒業する3年生、そして進級する1・2年生の皆さん。新しいステージでも、自ら「最初の一歩」を踏み出す勇気を持ち続けてください。自分だけの物語を力強く紡いでいく皆さんを、これからもずっと応援しています。

校長 廣澤 孝俊

### RPG：中学校生活の攻略法

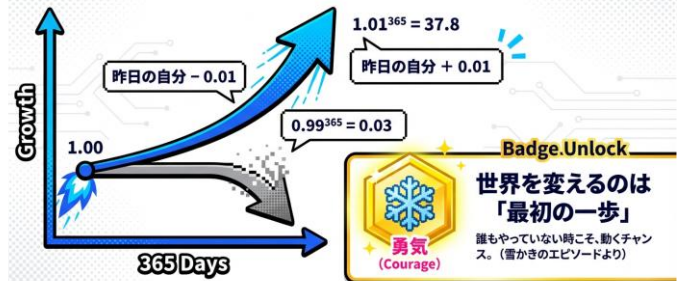
君の物語をどうプレイする？



マップを広げろ！「成長」と「楽しさ」のルール



### 勝利のチートコード：「1.01」の法則



最強のパーティ（仲間）の作り方



SKILL CHECK

計算・効率 (Efficiency)

気づき力・優しさ (Empathy)

AIは排除できるが、「なぜ汚れているか」には気づけない。

言葉 = 魔法

言葉はHP（体力）を回復させる魔法にも、傷つける武器にもなる。

LEVEL COMPLETED

## 自分のことを好きになろう

チーズは嫌いでも、ピザは好きでいい。

矛盾や弱点があっても、それが「あなた」という魅力的なキャラクター。

誰も踏んでいない真っ白な未来へ。素敵な「NEW GAME」を始めよう！

Equipped Stats

- 自信 ... EQUIPPED
- 優しさ ... EQUIPPED

# 線路の先で君を待ってる

## 石川 穴水中生「のと鉄道」CM制作

能登が君を待ってる」。石川県の穴水町立穴水中の2年生が地元で愛されている「のと鉄道」のCMを制作した。鉄道を通じて町の魅力を全国にPRしようと企画されたもので、約半年がかりで完成させた。今月初め、穴水駅で上映会があり協力した町民らと鑑賞し、感謝の輪が広がった。

【中尾卓英】



同中は、能登半島地震を受け、町が策定した復興計画の担い手の一翼になると、今年度から人と地域をつなぐプロジェクトを開始。各教科や学級活動



穴水駅のホームで、「能登が君を待ってる」というメッセージを掲げ、沿線の事業者や語の部たちと記念撮影する穴中の生徒ら

二いすれも川県穴水町で

生徒は1学期に震災観光列車に乗り、地震直後能登中島駅(同県七尾市)から乗員の誘導で乗客ら48人が高台に逃げて一夜を明かした避難行動を学習。その後、大手広告会社員のアドバイスで、印象に残った沿線の風物を選び、「つい通いたくなる」といっても続く美しい風景など班ごとのキャッチコピーを決めていった。



### 復興へ「最高のエール」

車語り部、坂本藍さん(45)が撮影した、桜が満開の能登鹿島駅や穴水湾の「ボラ待ちやぐら」、海面をジャンプするイルカなどの写真も効果的に使いながら計10本のCMを完成させた。今月の上映会、町民らに初めて披露した小泉祐太さん(14)は「鉄道に乗って自然や食べ物など能登をいっ



上映会で班ごとに制作したCMを紹介する生徒ら

### 栄光の記録

県選抜インドアソフトテニス大会  
男子団体3位

税の標語 輪島間税会賞

2026年(令和8年)  
2月16日(月)  
毎日新聞

写真を撮提供した坂本さんは「中学生が明日に向かって歩み始めた姿に成長を感じた」と目を細め、語り部主任の宮下左文さん(69)も「のと鉄道と能登の人々への最高のエールになった」と感動の面持ちだった。

ヨップ「八重洲いしかわテラス」でも上映する予定。長年、子供たちに学用品を提供してきた町商店振興会の吉村扶佐司さん(77)は「中学生の視点で穴水の自然や歴史の魅力が伝わってきた。旅行者が仮設商店街『あなみずスマイルマルシェ』などに足を運んでもらうきっかけになれば」と期待する。

**バイキング給食** 2月24日(火)、お楽しみのバイキング給食が行われました。主食は贅沢な「能登牛カレー」です。トッピングのおかずやデザートなどは、自分の好きなものを選ぶことができ、デザートのカップケーキは地元のお菓子工房 Hanon さんのものでした。お腹いっぱい美味しく食べることができ、教室にはたくさんの笑顔が広がりました。



### 3月・4月行事予定

- 3月 3日(火) 生徒会委員会
- 10日(火) 11日(水) 公立高校入試
- 13日(金) 卒業式
- 18日(水) 公立高校合格発表
- 24日(火) 修了式・離任式
- 4月 3日(金) 新任式・部活動ミーティング
- 入学式準備・クラス発表 11:00
- 7日(火) 始業式・入学式

